



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社アルファポリス  
 コード番号 9467 URL <http://www.alphapolis.co.jp/company/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 雄介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部本部長 (氏名) 大久保 明道

TEL 03-6277-0123

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,114	30.8	283	455.2	283	457.0	181	457.0
30年3月期第1四半期	852	30.7	51	33.9	50	34.4	32	38.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	18.76	
30年3月期第1四半期	3.37	

(注) 当社は、平成30年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	5,797	4,608	79.5
30年3月期	5,640	4,426	78.5

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 4,608百万円 30年3月期 4,426百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	13.9	1,200	58.4	1,200	58.5	800	55.9	82.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成31年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	9,687,400 株	30年3月期	9,687,400 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	120 株	30年3月期	120 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	9,687,280 株	30年3月期1Q	9,687,400 株

(注) 当社は、平成30年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

(株式分割後の業績予想について)

当社は、平成30年5月24日開催の取締役会において、平成30年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。なお、株式分割考慮前に換算した平成31年3月期の業績予想は以下のとおりとなります。

平成31年3月期の業績予想

1株当たり当期純利益 通期 165円16銭(注)

(注) 株式分割考慮前に換算した1株当たり当期純利益金額です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
（3）四半期財務諸表に関する注記事項	6
（継続企業の前提に関する注記）	6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	6
（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	6
（追加情報）	6
（セグメント情報等）	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成30年4月1日から平成30年6月30日まで）におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかな回復基調が続いておりますが、企業の人手不足感の高まりや海外経済の不確実性等の懸念により、景気は先行き不透明な状況で推移しております。

一方、当社が属する出版業界におきましては、引き続き厳しい状況が続いております。出版科学研究所によると、平成30年上半期（1月から6月まで）の紙の出版物の推定販売金額は、前年同期比8.0%減となる6,702億円となりました。その内訳は、「書籍」が同3.6%減となる3,810億円、「雑誌」は同13.1%減の2,892億円となっております。「雑誌」が特に厳しい状況となっております。一方、電子出版物については、同9.3%増の1,125億円となり、堅調に成長を続けております。

こうした環境の中、インターネット発の出版の先駆者である当社は、「これまでのやり方や常識に全くとらわれず」、「良いもの面白いもの望まれるものを徹底的に追求していく」というミッションの下、インターネット時代の新しいエンターテインメントを創造することを目的とし、インターネット上で話題となっている小説・漫画等のコンテンツを書籍化する事業に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間における書籍のジャンル別の概況は以下の通りであります。

#### 1. ライトノベル

当第1四半期累計期間の刊行点数は前年同期とほぼ同等となる56点（前年同期比1点増）となりました。一方、当第1四半期累計期間に刊行したシリーズ累計455万部を誇る当社主力タイトル『ゲート SEASON2』や『異世界ゆるり紀行』等の続巻の売行きが堅調であり、また、当社投稿サイトから誕生した『もふもふと異世界でスローライフを目指します!』、『落ちこぼれ[☆1]魔法使いは、今日も無意識にチートを使う』等の新シリーズも好調なスタートを切ることができました。電子書籍についても、親和性の高い女性向け恋愛小説を筆頭に、引き続き好調に推移いたしました。

結果、当第1四半期累計期間の売上高は前年同期を大きく上回り、過去最高を更新いたしました。

#### 2. 漫画

当第1四半期累計期間の刊行点数は前年同期を大きく上回る16点（前年同期比7点増）となりました。また、当第1四半期累計期間に刊行した当社主力タイトルである『ゲート』や『のんびりVRMMO記』の続巻の売行きは堅調であり、加えて、漫画のラインナップ拡充に伴い、漫画と親和性の高い電子書籍販売についても、大きく成長いたしました。

結果、当第1四半期累計期間の売上高は前年同期を大きく上回る金額で着地いたしました。

#### 3. 文庫

当第1四半期累計期間の刊行点数は前年同期を上回る38点（前年同期比6点増）となりました。一方、『居酒屋ぼったくり』のTVドラマ放送にあわせて、当第1四半期累計期間に刊行した続巻（2巻、3巻）の売行きが好調であり、同タイトルが売上を牽引することで、当第1四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る結果となりました。

#### 4. その他

ジャンル拡大に向け、当第1四半期累計期間では、幅広いジャンルの書籍を刊行いたしました。結果、当第1四半期累計期間の刊行点数は前年同期を上回る10点（前年同期比5点増）となり、当第1四半期累計期間の売上高は前年同期を上回る金額で着地いたしました。

<当第1四半期累計期間で刊行した主な書籍>

絵本：映画原作『ワンダー』の絵本版『みんな、ワンダー』、『ちびりゅうのかいかた』

ライト文芸：『ぼくたちのためのレシピノート』、『あの日、陽だまりの縁側で、母は笑ってさよならと言った』

ビジネス他：『小さな幸せの見つけ方』、『リーダーは“空気”をつくれ!』

以上の活動の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,114,638千円（前年同期比30.8%増）、営業利益は283,577千円（同45.2%増）、経常利益は283,979千円（同45.7%増）、四半期純利益は181,746千円（同45.7%増）となりました。

なお、平成30年1月に実施した当社ゲーム事業の譲渡に伴い、当第1四半期会計期間より、報告セグメントを「出版事業」の単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前事業年度末の数値で比較を行っております。

## ① 資産

当第1四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末と比較して164,460千円増加し、5,591,436千円となりました。これは主に、売掛金の回収に伴う現金及び預金の増加（前事業年度末比198,658千円増）及び売掛金の減少（同42,036千円減）によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比較して7,245千円減少し、205,895千円となりました。これは主に、無形固定資産に含まれるソフトウェアの償却を行ったことにより、無形固定資産が減少（同4,715千円減）によるものであります。

## ② 負債

当第1四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末に比べ18,325千円減少し、1,172,501千円となりました。これは主に、従業員の増加及び業績好調に伴い賞与引当金が増加（前事業年度末比12,570千円増）する一方で、返品調整引当金が減少（同14,915千円減）したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ6,207千円減少し、16,596千円となりました。これは主に、借入金の返済に伴い長期借入金が減少（同5,844千円減）したことによるものであります。

## ③ 純資産

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ181,746千円増加し、4,608,235千円となりました。これは全て、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,152,938	3,351,596
売掛金	2,037,594	1,995,557
製品	132,638	141,997
仕掛品	87,175	89,408
その他	16,629	12,876
流動資産合計	5,426,976	5,591,436
固定資産		
有形固定資産	12,793	12,123
無形固定資産	55,690	50,975
投資その他の資産	144,657	142,797
固定資産合計	213,141	205,895
資産合計	5,640,118	5,797,332
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63,581	66,738
1年内返済予定の長期借入金	34,921	30,922
未払金	411,802	428,180
未払法人税等	111,040	106,732
賞与引当金	32,733	45,303
返品調整引当金	433,097	418,182
その他	103,649	76,441
流動負債合計	1,190,826	1,172,501
固定負債		
長期借入金	18,808	12,964
その他	3,995	3,632
固定負債合計	22,803	16,596
負債合計	1,213,629	1,189,097
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	863,824	863,824
資本剰余金	853,824	853,824
利益剰余金	2,708,976	2,890,723
自己株式	△137	△137
株主資本合計	4,426,488	4,608,235
純資産合計	4,426,488	4,608,235
負債純資産合計	5,640,118	5,797,332

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	852,134	1,114,638
売上原価	336,721	345,868
売上総利益	515,413	768,770
返品調整引当金戻入額	436,579	433,097
返品調整引当金繰入額	393,678	418,182
差引売上総利益	558,314	783,685
販売費及び一般管理費	507,239	500,108
営業利益	51,075	283,577
営業外収益		
受取利息	0	0
その他	50	463
営業外収益合計	50	463
営業外費用		
支払利息	143	61
営業外費用合計	143	61
経常利益	50,982	283,979
税引前四半期純利益	50,982	283,979
法人税等	18,353	102,232
四半期純利益	32,629	181,746

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第1四半期累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）及び当第1四半期累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）

当社の報告セグメントは、従来「出版事業」と「ゲーム事業」の2事業に区分しておりましたが、当第1四半期累計期間より、「出版事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、平成30年1月に行ったゲーム事業の譲渡に伴うものであります。

これにより、当社の報告セグメントは「出版事業」の単一セグメントとなることから、前第1四半期累計期間及び当第1四半期累計期間のセグメントの記載を省略しております。